

都市再生整備計画

みやがわ
宮川地区

ぎふ 岐阜県 ひだし 飛騨市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	飛騨市	地区名	宮川地区	面積	120 ha
計画期間	平成 26 年度 ~	平成 28 年度	交付期間	平成 26 年度 ~	平成 28 年度		

目標
【大目標】 安心・安全な住環境及び活力ある地域づくり
【目標1】 安心・安全な交通環境の充実 【目標2】 地域の活性化及び地域コミュニティの維持・推進 【目標3】 地域住民の健康増進及び世代間交流の促進

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ・岐阜県の最北端に位置し、地域の中央を南北に一級河川宮川が流れ、それに沿って国道360号、JR高山本線が通っている。地域面積の95%を山林が占めており、豊かな自然環境を有した地域である。 ・若年層を中心とする人口の社会的減少により少子高齢化が進行し、地域の活力が大きく低下している。人口は平成16年2月合併当時に約1,100人であったが、平成24年度末には約800人にまで減少した。(約10年間で3割近くの減少) ・地域の高齢化率は40%を越えており、飛騨市で一番高齢化率の高い地域である。 ・宮川町は特別豪雪地帯に指定されており、堆雪による狭隘部のすれ違いや路面等の破損による交通支障などが、冬期の道路交通における課題となっている。また、平成10年、11年、16年に豪雨災害が発生し、特に16年災害では地域間を結ぶ国道360号が崩壊し孤立化するなど甚大な被害を被っており、当時より地域住民の自然災害等に対する不安感が広まっていることから、自動車や高齢者等の歩行者の通行に支障をきたしている地域の重要な生活道路や避難路等の修繕等について、地域住民より強く要望されている。 ・宮川町の中心に位置する当地区には宮川振興事務所庁舎や宮川町公民館などが建っており、地域の重要な交流拠点であるが、人口減少や高齢化等の影響により地域コミュニティが低下し、交流施設の利用率も減少傾向にある。また、超高齢化社会に対応した施設整備が望まれている。(バリアフリー化) ・宮川振興事務所庁舎や宮川町公民館は昭和40年代に建設されており、耐震不適合建築物であるため耐震化が必要である。(宮川公民館は避難所指定有り) ・地区内には、高齢者等が気軽に利用できる身近な公園が無い、グランドゴルフなどのスポーツができる公園の整備が望まれている。
課題 ①地域の重要な生活道路や避難路において、すれ違い困難な狭隘部や老朽化等による破損箇所の整備(修繕等)を行い、冬期や災害時における通行の安全性を確保すると共に高齢者等が歩きやすい交通環境の充実を図る必要がある。 ②人口減少や少子高齢化により地域活力が弱まり、地域コミュニティ機能が低下しているため、より地域住民のニーズに即した活動しやすい交流空間の整備(バリアフリー化など)を行い、地域交流の活性化や地域コミュニティの維持・推進を図る必要がある。また、地域住民が安心して活動できる場や避難所を確保するため、施設の耐震化を促進する必要がある。 ③超高齢化社会に対応するために、高齢者等が気軽に利用できる身近な公園を整備し、生涯スポーツの普及による健康づくりや生きがいの創出を図る必要がある。また、地域イベントなどで子供から高齢者まで幅広い世代が交流できる場の確保が必要である。
将来ビジョン(中長期) 飛騨市第二次総合計画におけるまちづくり基本構想(H22~H31) 『市民が いつまでも 安心して暮らせるまちづくり』 ○健康で生きがいのもてるまちづくり … 「健康づくりの推進」生活習慣病の予防等、「生涯スポーツの推進」誰もが親しめるスポーツの普及。 ○地域の維持・活性化 … 「協働とコミュニティの推進」地域コミュニティの拠点整備とコミュニティ活動の支援。 ○社会資本の充実 … 「総合的な交通体系の充実」市民生活の安全・安心・快適性の向上のための市道等整備、「住宅・住環境の充実」冬期の生活道路の確保、「防災対策の充実」防災環境の整備。

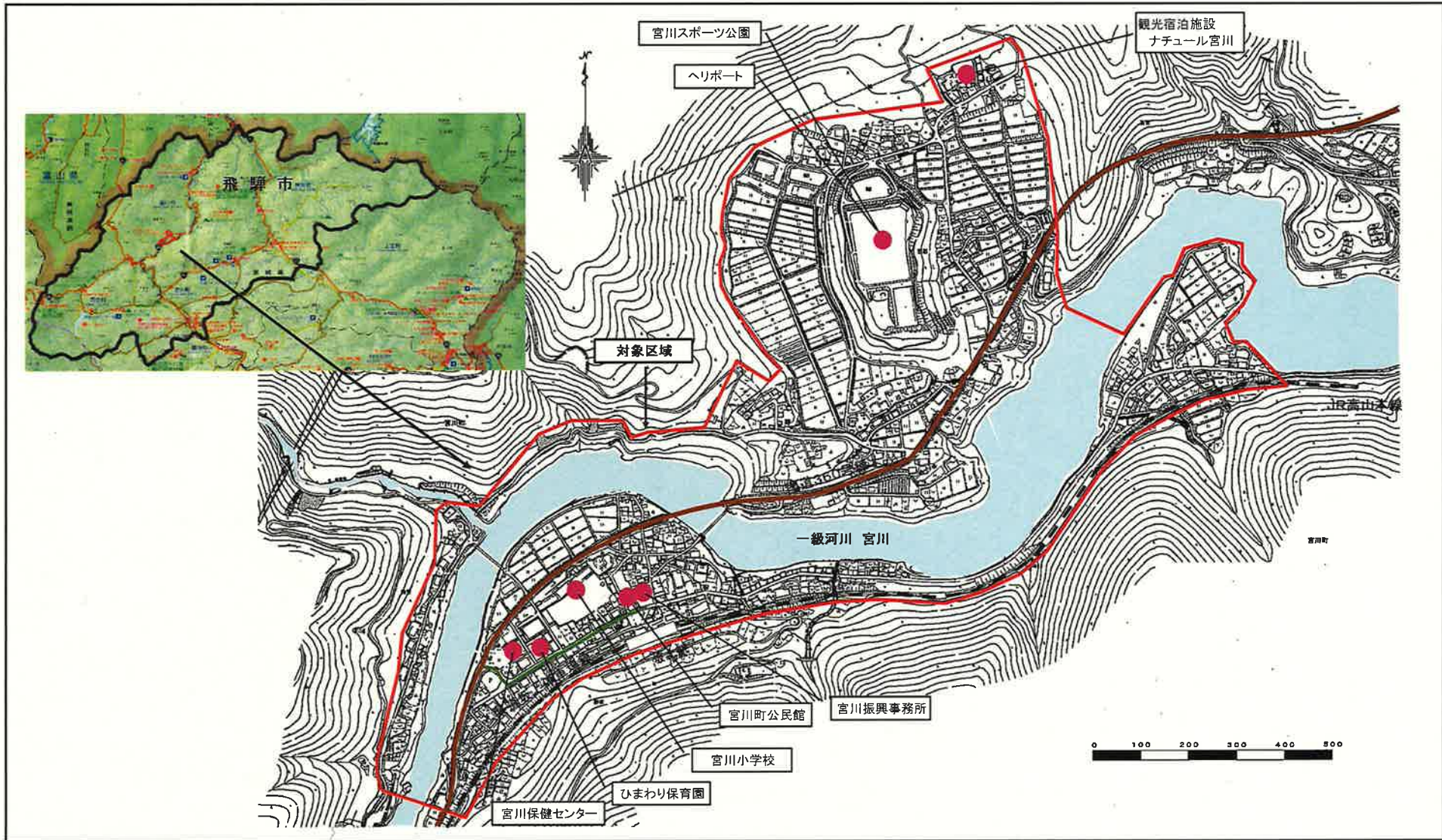
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
道路交通環境に対する住民満足度	ポイント	住民アンケートによる地区内の道路交通環境に対する住民満足度(1:不満、2:やや不満、3:普通、4:やや満足、5:満足)	地区内の重要な生活道路や避難路について、狭隘な道路の幅幅や破損箇所の修繕等を行い、自動車や歩行者の道路交通環境に対する住民満足度の評価向上を目指す。	2.5	H25	3.0	H28
地域交流センターの利用者数	人/年	宮川町公民館における地域交流を目的とした年間利用者数(延べ)	地域交流拠点を整備することで、少子高齢化により減少する交流人口の維持・増加を図り、地域の活性化及び世代間交流による地域コミュニティの維持・推進を目指す。	1300	H25	1600	H28
公園の利用者数	人/年	宮川町中央公園における地域の敬老会等が行うスポーツや地域イベントなどの年間利用者数(延べ)	高齢者等が気軽にスポーツを行える公園を整備することで、スポーツ人口を増やし健康の維持・増進を図る。また、地域の祭り等のイベントでの活用を図り、世代間交流の促進と地域の活性化を支援するとともに、生涯スポーツを普及し、高齢者等の生きがいを創出する。	0	H25	200	H28

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>1. 安心・安全な交通環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の重要な生活道路や避難路等の道路交通における安全性を確保するため、狭隘な箇所の改良や路面等の破損状況がひどい箇所の修繕など道路整備を行う。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路：市道林～丸山線 市道林7号線 市道西忍1号線 市道西忍18号線
<p>2. 地域交流拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化及び地域コミュニティの維持・推進のため、地域交流拠点の整備を図る。 ・地域交流拠点における施設の安全性の向上及びバリアフリー化を図る。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次都市施設(地域交流センター)：宮川町公民館 <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮川振興事務所庁舎
<p>3. 健康増進等に活用する身近な公園整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の健康増進、生きがいの創出、世代間交流の促進のため、高齢者等が気軽に利用できる身近な公園の整備を図る。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園：宮川町中央公園
<p>その他</p>	

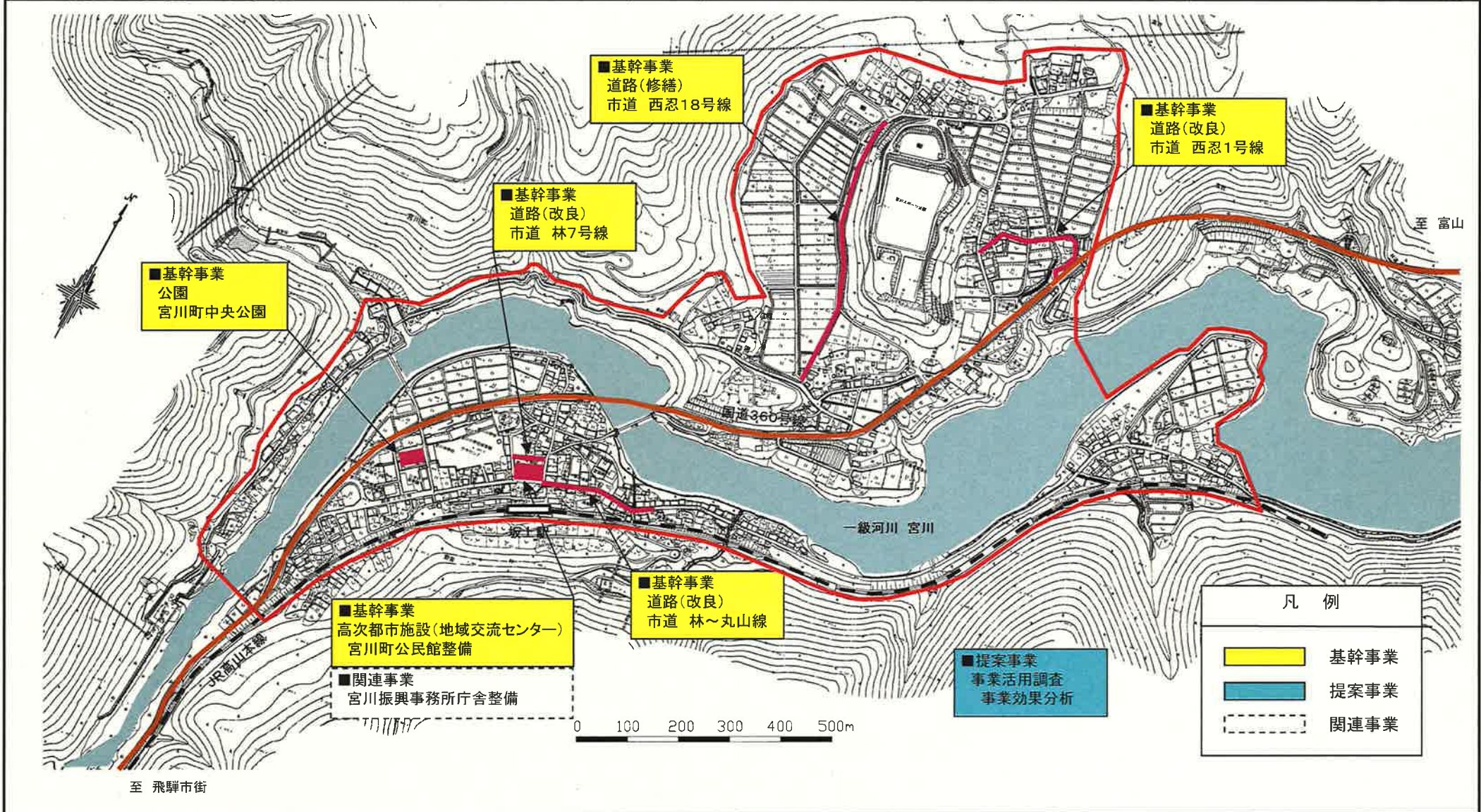
都市再生整備計画の区域

宮川地区(岐阜県飛騨市)	面積 120 ha	区域 野首、森安、西忍、牧戸、林
--------------	--------------	---------------------



宮川地区(岐阜県飛騨市) 整備方針概要図

目標	安心・安全な住環境及び活力ある地域づくり	代表的な指標	道路交通環境に対する住民満足度 (ポイント)	2.5 (H25年度)	→	3.0 (H28年度)
	①安心・安全な交通環境の充実		地域交流センターの利用者数 (人/年)	1300 (H25年度)	→	1600 (H28年度)
	②地域活性化及び地域コミュニティ維持・推進 ③地域住民の健康増進及び世代間交流の促進		公園の利用者数 (人/年)	0 (H25年度)	→	200 (H28年度)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 宮川地区都市再生整備計画

事業主体名: 飛騨市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	<input type="radio"/>
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>